

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成24年1月12日
【四半期会計期間】	第30期第2四半期(自平成23年9月1日至平成23年11月30日)
【会社名】	株式会社ウッドフレンズ
【英訳名】	WOOD FRIENDS Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 前田 和彦
【本店の所在の場所】	名古屋市中区栄四丁目5番3号
【電話番号】	052(249)3503
【事務連絡者氏名】	経理部長 中島 崇
【最寄りの連絡場所】	名古屋市中区栄四丁目5番3号
【電話番号】	052(249)3504
【事務連絡者氏名】	経理部長 中島 崇
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第29期 第2四半期連結 累計期間	第30期 第2四半期連結 累計期間	第29期
会計期間	自平成22年 6月1日 至平成22年 11月30日	自平成23年 6月1日 至平成23年 11月30日	自平成22年 6月1日 至平成23年 5月31日
売上高 (千円)	13,130,336	11,974,749	27,929,542
経常利益又は経常損失() (千円)	491,430	27,251	992,711
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失() (千円)	224,470	113,890	517,630
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	240,113	96,912	539,527
純資産額 (千円)	3,885,681	3,986,318	4,185,095
総資産額 (千円)	18,107,383	22,526,997	20,470,913
1株当たり四半期(当期) 純利益金額又は1株当たり 四半期純損失金額() (円)	15,425.42	7,826.48	35,571.06
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	21.2	17.4	20.2
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	2,393,914	3,304,836	4,343,338
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	101,282	252,313	191,866
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	2,614,136	2,109,199	4,402,133
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	3,399,429	1,699,468	3,147,418

回次	第29期 第2四半期連結 会計期間	第30期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成22年 9月1日 至平成22年 11月30日	自平成23年 9月1日 至平成23年 11月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	15,419.80	922.80

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載して
おりません。

- 2 売上高には、消費税等は含んでおりません。
- 3 第29期第2四半期連結累計期間及び第29期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、
潜在株式が存在しないため、記載していません。
- 4 第30期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期
純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。
- 5 第29期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企
業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容において、重要な変
更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生はありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクに変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により、依然として厳しい状況となりました。企業収益では減少の動きがみられ、雇用情勢は依然として厳しい状況のまま推移しました。また、欧州の債務危機等の景気下振れリスクが存在しており、先行きに対する不透明感は一層強まりました。

不動産業界においては、伸び悩む個人消費や所得環境等を背景として、新設住宅着工戸数は依然として低水準で推移しており、市況は厳しい状況となりました。

このような状況下、当グループの主力事業であります住宅事業では、販売活動に注力してまいりましたが、販売戸数が計画対比で未達となりました。

その一方で、新しい住宅供給システムの中核機能を担う施設である岐阜工場の稼働を開始しました。同工場では住宅設計、集成材製造及びプレカットを連携させ、木材資源の有効利用と省力化を図るとともに環境負荷を低減し、地域社会の経済や生活文化に貢献してまいります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

住宅事業

販売戸数が計画対比で未達であったことに加えて、一部の物件において政策的に販売価格の見直しを実施したことにより、当初計画した利益率を下回る結果となりました。売上高は11,032百万円(前年同期比8.7%減)、セグメント利益は205百万円(前年同期比72.0%減)となりました。

A M(アセットマネジメント)事業

ゴルフ場の来場者数が概ね計画どおりであったため、業績は堅調に推移しました。売上高は807百万円(前年同期比6.3%増)、セグメント利益は134百万円(前年同期比0.5%増)となりました。

その他の事業

生活関連ビジネスでは、当初計画を下回る結果となりました。売上高は175百万円(前年同期比45.1%減)、セグメント損失は21百万円(前年同期は43百万円の損失)となりました。

以上の結果により、当第2四半期連結累計期間の売上高は11,974百万円(前年同期比8.8%減)、営業利益は108百万円(前年同期比82.3%減)、経常損失は27百万円(前年同期は491百万円の利益)、四半期純損失は113百万円(前年同期は224百万円の利益)となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失が27百万円(前年同期は484百万円の利益)となったことに加え、たな卸資産の増加による支出が2,571百万円(前年同期比10.7%減)であったことを主な要因として3,304百万円の支出(前年同期比38.1%増)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として有形固定資産の取得等により、252百万円の支出(前年同期比149.1%増)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入れ及び社債の発行による収入が借入金の返済による支出を上回ったこと等により、2,109百万円の収入(前年同期比19.3%減)となりました。

以上の結果により、現金及び現金同等物は1,447百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末残高は1,699百万円(前年同期比50.0%減)となりました。

(3) 財政状態の分析

資産

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、たな卸資産の取得を主な要因として、前連結会計年度末と比較して2,056百万円増加し、22,526百万円となりました。

負債

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、たな卸資産の取得に伴う借入金の増加を主な要因として、前連結会計年度末と比較して2,254百万円増加し、18,540百万円となりました。

純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度に係る配当金の支払を主な要因として、前連結会計年度末と比較して198百万円減少し、3,986百万円となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(6) 主要な設備

新設、休止、大規模改修、除却、売却等により、当第2四半期連結累計期間に著しい変動があったものは、次のとおりであります。

(新設)

当第2四半期連結累計期間において、岐阜工場(集成材製造設備及びプレカット加工設備 取得価額合計727百万円)が完成いたしました。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	48,000
計	48,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年11月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年1月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	14,800	14,800	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	当社は単元株制 度は採用してお りません。
計	14,800	14,800	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年9月1日～ 平成23年11月30日	-	14,800	-	279,125	-	269,495

(6)【大株主の状況】

平成23年11月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
ベストフレンズ有限会社	愛知県春日井市月見町60 - 2	5,874	39.68
東邦レオ株式会社	大阪市中央区上町1 - 1 - 28	1,200	8.10
前田 扶美子	愛知県春日井市	730	4.93
橘 俊夫	堺市南区	511	3.45
松岡 明	愛知県一宮市	460	3.10
前田 和彦	愛知県春日井市	442	2.98
柴田 労	名古屋市中区	400	2.70
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区内幸町1 - 1 - 5	360	2.43
株式会社ウッドフレンズ	名古屋市中区栄4 - 5 - 3	248	1.67
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2 - 7 - 1	240	1.62
株式会社りそな銀行	大阪市中央区備後町2 - 2 - 1	240	1.62
株式会社十六銀行	岐阜県岐阜市神田町8 - 26	240	1.62
計	-	10,945	73.95

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年11月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 248		
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,552	14,552	
単元未満株式			
発行済株式総数	14,800		
総株主の議決権		14,552	

【自己株式等】

平成23年11月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式の割合(%)
株式会社ウッドフレンズ	名古屋市中区栄4 - 5 - 3	248	-	248	1.67
計	-	248	-	248	1.67

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づき、同規則及び「建設業法施行規則」(昭和24年建設省令第14号)により作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成23年9月1日から平成23年11月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年6月1日から平成23年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,184,918	1,736,968
完成工事未収入金	60,513	68,097
売掛金	87,496	65,370
販売用不動産	6,350,457	9,059,574
仕掛販売用不動産	5,498,766	5,383,398
商品	7,408	6,784
未成工事支出金	1,503,788	1,462,313
原材料	36,193	56,206
その他	655,502	950,353
流動資産合計	17,385,046	18,789,067
固定資産		
有形固定資産	2,665,222	3,304,216
無形固定資産	65,974	56,163
投資その他の資産	354,669	377,550
固定資産合計	3,085,866	3,737,929
資産合計	20,470,913	22,526,997
負債の部		
流動負債		
工事未払金	1,840,902	1,533,378
買掛金	148,400	84,430
1年内償還予定の社債	186,800	226,800
短期借入金	9,444,920	11,363,791
1年内返済予定の長期借入金	263,151	491,103
未払法人税等	272,083	94,090
賞与引当金	4,163	21,198
完成工事補償引当金	91,374	81,374
その他	647,892	709,452
流動負債合計	12,899,688	14,605,619
固定負債		
社債	733,200	799,800
長期借入金	1,939,930	1,916,433
退職給付引当金	6,044	6,170
役員退職慰労引当金	105,800	109,050
資産除去債務	5,628	17,191
その他	595,526	1,086,413
固定負債合計	3,386,129	3,935,058
負債合計	16,285,817	18,540,678

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	279,125	279,125
資本剰余金	269,495	269,495
利益剰余金	3,629,512	3,413,757
自己株式	40,454	40,454
株主資本合計	4,137,677	3,921,922
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	338
その他の包括利益累計額合計	-	338
少数株主持分	47,418	64,058
純資産合計	4,185,095	3,986,318
負債純資産合計	20,470,913	22,526,997

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
売上高	13,130,336	11,974,749
売上原価	11,196,585	10,438,907
売上総利益	1,933,750	1,535,842
販売費及び一般管理費	1,318,221 ₁	1,426,896 ₁
営業利益	615,529	108,945
営業外収益		
受取利息	1,100	144
受取手数料	8,190	9,824
違約金収入	3,777	2,000
その他	5,763	11,885
営業外収益合計	18,832	23,854
営業外費用		
支払利息	107,973	146,206
社債発行費	8,627	3,292
資金調達費用	9,804	1,665
その他	16,525	8,886
営業外費用合計	142,930	160,051
経常利益又は経常損失()	491,430	27,251
特別損失		
固定資産除却損	1,722 ₂	718 ₂
減損損失	4,225	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	852	-
特別損失合計	6,801	718
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	484,629	27,970
法人税等	243,760	69,280
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	240,868	97,250
少数株主利益	16,398	16,639
四半期純利益又は四半期純損失()	224,470	113,890

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	240,868	97,250
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	755	338
その他の包括利益合計	755	338
四半期包括利益	240,113	96,912
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	223,715	113,552
少数株主に係る四半期包括利益	16,398	16,639

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	484,629	27,970
減価償却費	125,581	118,391
減損損失	4,225	-
のれん償却額	12,844	12,844
役員賞与引当金の増減額(は減少)	26,000	15,500
受取利息及び受取配当金	1,538	582
支払利息	107,973	146,206
売上債権の増減額(は増加)	6,296	14,542
たな卸資産の増減額(は増加)	2,881,009	2,571,662
仕入債務の増減額(は減少)	512,081	374,411
その他	178,963	187,682
小計	1,846,471	2,885,825
利息及び配当金の受取額	1,538	582
利息の支払額	117,612	152,444
法人税等の支払額	431,368	267,148
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,393,914	3,304,836
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	49,399	176,228
その他	51,882	76,084
投資活動によるキャッシュ・フロー	101,282	252,313
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	10,373,250	9,088,675
短期借入金の返済による支出	6,672,361	7,169,804
長期借入れによる収入	220,000	467,000
長期借入金の返済による支出	1,566,305	262,545
社債の発行による収入	591,372	196,039
社債の償還による支出	234,000	93,400
リース債務の返済による支出	10,497	15,485
配当金の支払額	87,323	101,279
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,614,136	2,109,199
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	118,939	1,447,950
現金及び現金同等物の期首残高	3,280,490	3,147,418
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,399,429	1,699,468

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
1 税金費用の計算	税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

【追加情報】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)	
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。	

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
<p>1 貸倒引当金直接控除額</p> <p>投資その他の資産 2,000千円</p> <p>2 保証債務</p> <p>販売顧客の金融機関からの借入金196,800千円に対し債務保証を行っております。</p>	<p>1 貸倒引当金直接控除額</p> <p>投資その他の資産 2,000千円</p> <p>2 保証債務</p> <p>販売顧客の金融機関からの借入金283,700千円に対し債務保証を行っております。</p>

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
<p>1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <p>給料手当 327,273千円</p> <p>賞与引当金繰入額 20,819千円</p> <p>広告宣伝費 262,441千円</p> <p>販売手数料 161,829千円</p> <p>完成工事補償引当金繰入額 19,863千円</p> <p>2 固定資産除却損の内訳</p> <p>車両運搬具 247千円</p> <p>ソフトウェア 1,475千円</p> <p style="text-align: right;">合計 1,722千円</p>	<p>1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <p>給料手当 366,233千円</p> <p>賞与引当金繰入額 14,160千円</p> <p>広告宣伝費 216,757千円</p> <p>販売手数料 148,523千円</p> <p>完成工事補償引当金繰入額 17,705千円</p> <p>2 固定資産除却損の内訳</p> <p>建物 375千円</p> <p>工具器具備品 343千円</p> <p style="text-align: right;">合計 718千円</p>

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年11月30日現在)	1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年11月30日現在)
現金及び預金勘定 3,436,929千円	現金及び預金勘定 1,736,968千円
預入期間が3ヶ月を超える 37,500千円	預入期間が3ヶ月を超える 37,500千円
定期預金	定期預金
現金及び現金同等物 3,399,429千円	現金及び現金同等物 1,699,468千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年6月1日至平成22年11月30日)

1 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年8月26日 定時株主総会	普通株式	87,312	6,000	平成22年 5月31日	平成22年 8月27日	利益剰余金

2 株主資本金額の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年6月1日至平成23年11月30日)

1 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年8月26日 定時株主総会	普通株式	101,864	7,000	平成23年 5月31日	平成23年 8月29日	利益剰余金

2 株主資本金額の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年6月1日至平成22年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	住宅事業 (千円)	A M事業 (千円)	その他の 事業 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	12,085,034	759,203	286,097	13,130,336	-	13,130,336
セグメント間の内部売上高 又は振替高	465	687	32,770	33,923	33,923	-
計	12,085,499	759,891	318,868	13,164,259	33,923	13,130,336
セグメント利益 又はセグメント損失()	733,819	134,106	43,491	824,434	208,905	615,529

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、収益不動産の開発・賃貸運営、生活関連ビジネス等を行っております。

2 セグメント利益の調整額 208,905千円には、セグメント間取引消去13,931千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 222,837千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年6月1日至平成23年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	住宅事業 (千円)	A M事業 (千円)	その他の 事業 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	11,022,259	806,391	146,098	11,974,749	-	11,974,749
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,682	1,516	28,920	41,120	41,120	-
計	11,032,941	807,907	175,019	12,015,869	41,120	11,974,749
セグメント利益 又はセグメント損失()	205,357	134,793	21,392	318,757	209,812	108,945

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、収益不動産の開発・賃貸運営、生活関連ビジネス等を行っております。

2 セグメント利益の調整額 209,812千円には、セグメント間取引消去11,529千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 221,341千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額()	15,425円42銭	7,826円48銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()(千円)	224,470	113,890
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()(千円)	224,470	113,890
普通株式の期中平均株式数(株)	14,552	14,552

- (注) 1 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 2 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年1月12日

株式会社ウッドフレンズ
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 宮本 正 司

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 楠 元 宏

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ウッドフレンズの平成23年6月1日から平成24年5月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成23年9月1日から平成23年11月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年6月1日から平成23年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ウッドフレンズ及び連結子会社の平成23年11月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。